

債券でもアクティブ運用型ETF登場

「上場Tracers米国債0-2年ラダー(為替ヘッジなし)」、10月5日上場予定

事前に定めたルールに沿って運用(トレース)する

日興アセットの新ETFシリーズ「上場Tracers」誕生

日興アセットマネジメントは、残存期間が2年以下の米国国債に投資を行う上場投資信託(ETF)「上場Tracers米国債0-2年ラダー(為替ヘッジなし)〈愛称:上場Tr米債0-2年ラダー(為替ヘッジなし)、証券コード2093〉」を新たに設定し、東京証券取引所に上場する。ファンドの設定は10月2日、上場は10月5日の予定。

「上場Tracers(トレイサーズ)」は、事前に定めたルールに沿って運用(トレース)する、日興アセットマネジメントの低コストETFシリーズ。このほど、東京証券取引所でインデックス(指数)に縛られずに柔軟な運用を行うアクティブETF(内国アクティブ運用型ETF)の上場制度が導入さ

れた。同ファンドはルールに沿ったパッシブ運用(ルールベース運用)を行うが、連動対象となる指標が存在しないため、同取引所規則上の「内国アクティブ運用型ETF」に該当する、としている。

「上場Tracers米国債0-2年ラダー(為替ヘッジなし)」では、原則として、投資対象とする債券を、残存期間に応じて6カ月以下、6カ月超12カ月以下、12カ月超18カ月以下、18カ月超24カ月以下の4つのグループに分け、流動性や売買コストなどを考慮しながら、各グループへおおむね等金額(各25%)となるよう分散投資(ラダー型運用)を行う。一般的に、債券投資では、発行体のデフォルトが無ければ償還日に額面通りの金

額を得ることができるため、他の投資対象資産と比較して安定した収益が得られる傾向がある。同ファンドは、先進国の中でも相対的に高い信用力を有すると考えられている米国の国債のうち、残存期間が2年以下の国債を投資対象としているため満期到来のサイクルが早く、信用リスクと価格変動リスクが相対的に小さいことも特徴といえる。

また、同ファンドの信託報酬は年率0.066%(税抜0.06%)。上場Tracersでは、指数に頼らない柔軟な発想で商品进行を設計し、徹底的なコスト削減に取り組むことで、独創的なルールベースのETFを低コストで提供することを目指す、としている。